

第2次安平町総合計画後期基本計画策定に係る町民参画 ～あびらの未来を考える～ 移住者ミーティング開催状況

■開催概要

日 時：令和4年8月27日（土）10：00～12：30
場 所：エントランス
参加者：9名
目 的：第2次安平町総合計画後期基本計画の策定に向けた町民参画として位置付け、
移住者を対象に安平町の魅力や課題について意見を聴取するもの。
進め方：次頁のとおり

■グループワークテーマ

- [グループワーク1] 安平町に移住して感じる、安平町の良いところ
- [グループワーク2] 安平町に住んでいて困っていること、悩んでいること
もったいない、問題だと感じること

■主な意見

[グループワーク1]

安平町に移住して感じる、安平町の良いところ【黄色付箋】
自然環境（広大な自然、自然環境が豊か、夜が静か、虫が採れる、動物・馬がいる）
気候（晴れの日が多い、涼しい、雪が少ない）
景観（星・菜の花・冬の景色がきれい、徒歩圏内に絶景がある、なだらかな丘陵の景観）
食べ物（農業が盛ん、野菜がおいしい、チーズ・アサヒメロンなど食べ物おいしい）
人・文化（移住者にフレンドリー、あいさつしてくれる、温かい人がたくさんいる、地域住民の親密さ、 ウェルカムな文化、勢い・活力がある、居心地の良さ、役場と住民が近い、移住者への対応）
子育て（待機児童が少ない、子育てしやすい）
公共交通（空港・札幌が近い、鉄道・駅がある、都会が近く安心感がある）

[グループワーク2]

課題【青色付箋】
車がないと・・・
大きな病院や産婦人科など専門の病院がない
町内会への参加、お年寄り向け？同調圧力
子育てのまちって言うけど、早来のことでしょう
町内唯一の追分高校とは・・・（＝高校のことを知らない）
学校のソフト面（すてきなハードに負けないソフトを！）
働き口が少ない、パートの仕事が少ない
24時間やっているお店が少ない
住むところ、アパートがない
空き家が多いのに活用されていない（もったいない）
地元生産馬がGIで勝利しても、町民は知らない。（町民が勝利を祝ってくれたら関係者は喜ぶ）（馬の町 なのにもったいない）

※課題と解決策がセットであるもの

課題【青色付箋】	解決策【赤色付箋】
多様性 ひとり親が住みやすい、同性パートナーシップが認められる	マイノリティの方の受入れ
一軒家の賃貸が少ない 田舎暮らしやってみみたいけど、気軽にできない住環境。相談窓口ほしい	空き家を活用しやすく（マッチング） （空き家に人が住めるよう手配して下さい。もったいないので活用して下さい。）
特産品が食べられる場所・お店がない・少ない （もったいない） アサヒメロンを食べられる店がない	道の駅、あびらカフェさんの活用（交渉をお願いします）
子どもの居場所	公民館や交流センターに子どもの場所を
仕事	会社と働きたい人のマッチング
交通（運転できなくなったら） JRの本数、JR特急以外の本数が少ない	使いたい人が使いやすいバス運用を （交通の便を良くして、車使用できない人も暮らしやすい町に）
買い物、買物品質	お店の意識づけ（求められているものを知る）

グループワークの進め方

ファシリテーターによるグループワークの進行、グラフィックレコーディングを取り入れた意見の集約を行いながら、参加者（移住者）目線での意見交換を行いました。

なお、当日の流れは次のとおりです。

10:00～

主旨説明・アイスブレイク

グループワークの進め方や目的などについて説明したのち、自己紹介を実施



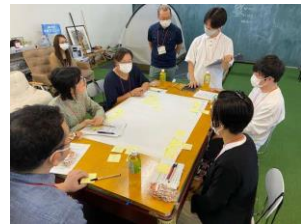
共有（シェア）の時間

別グループで出された意見の共有を図る



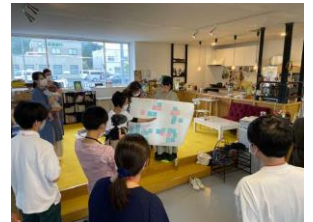
グループワーク 1

「安平町に移住して感じる、安平町の良いところ」をテーマに意見を出し合う



グループワーク 2

「住んでいて困っていること、もったいないこと」などをテーマに意見を出し合う



グラフィックファシリテーション

参加者の意見が落とし込まれた模造紙を並べ、グラフィック（イラスト・文字）を交えながら、本日の振り返りを実施



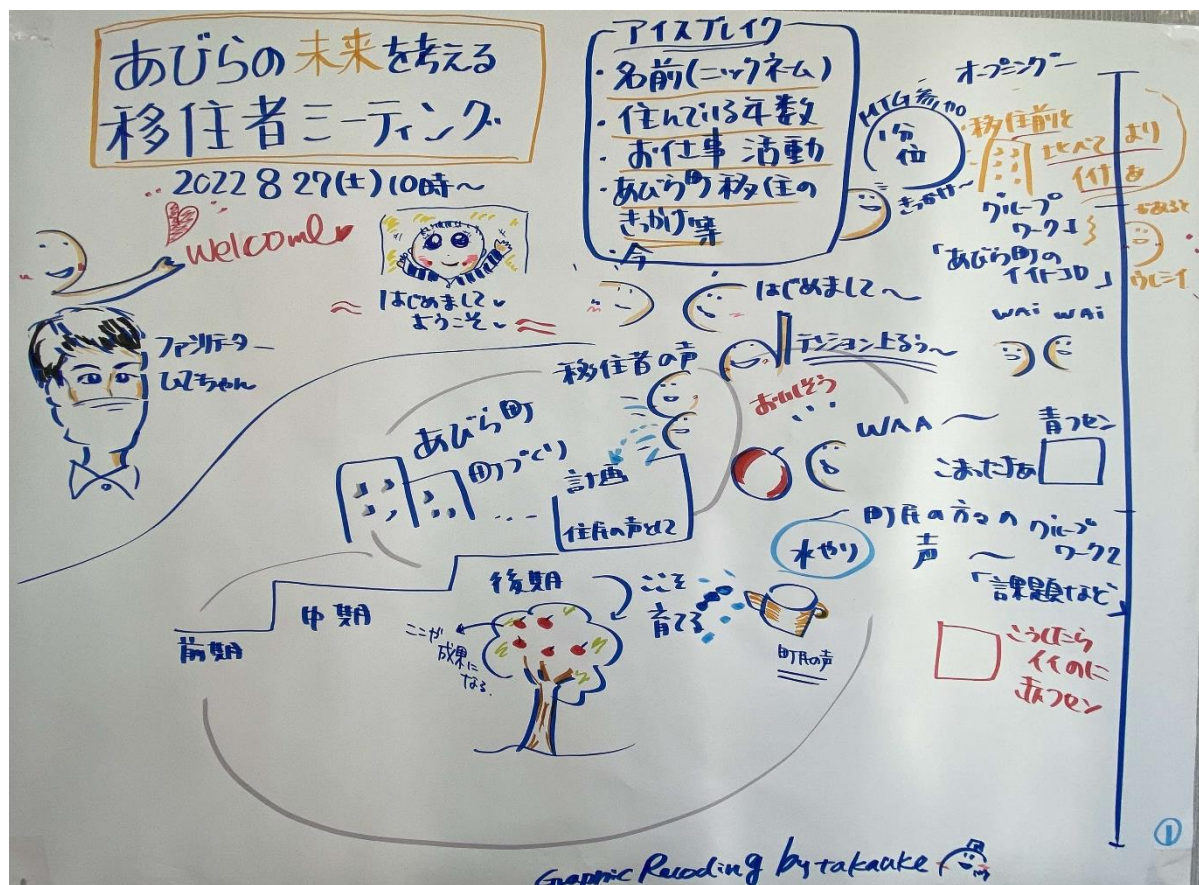
参加者による描きこみ

参加者が伝えたいことや意見を模造紙に落とし込み

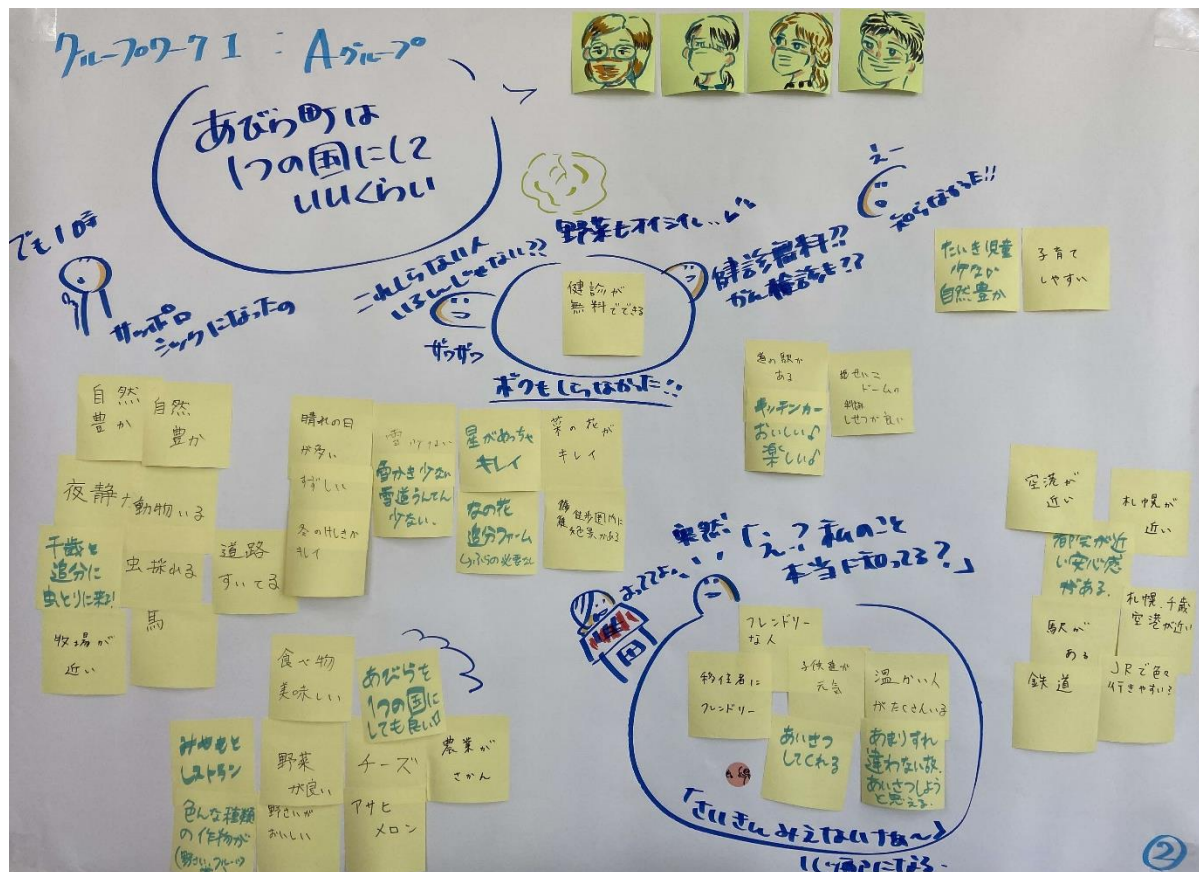


～12:30

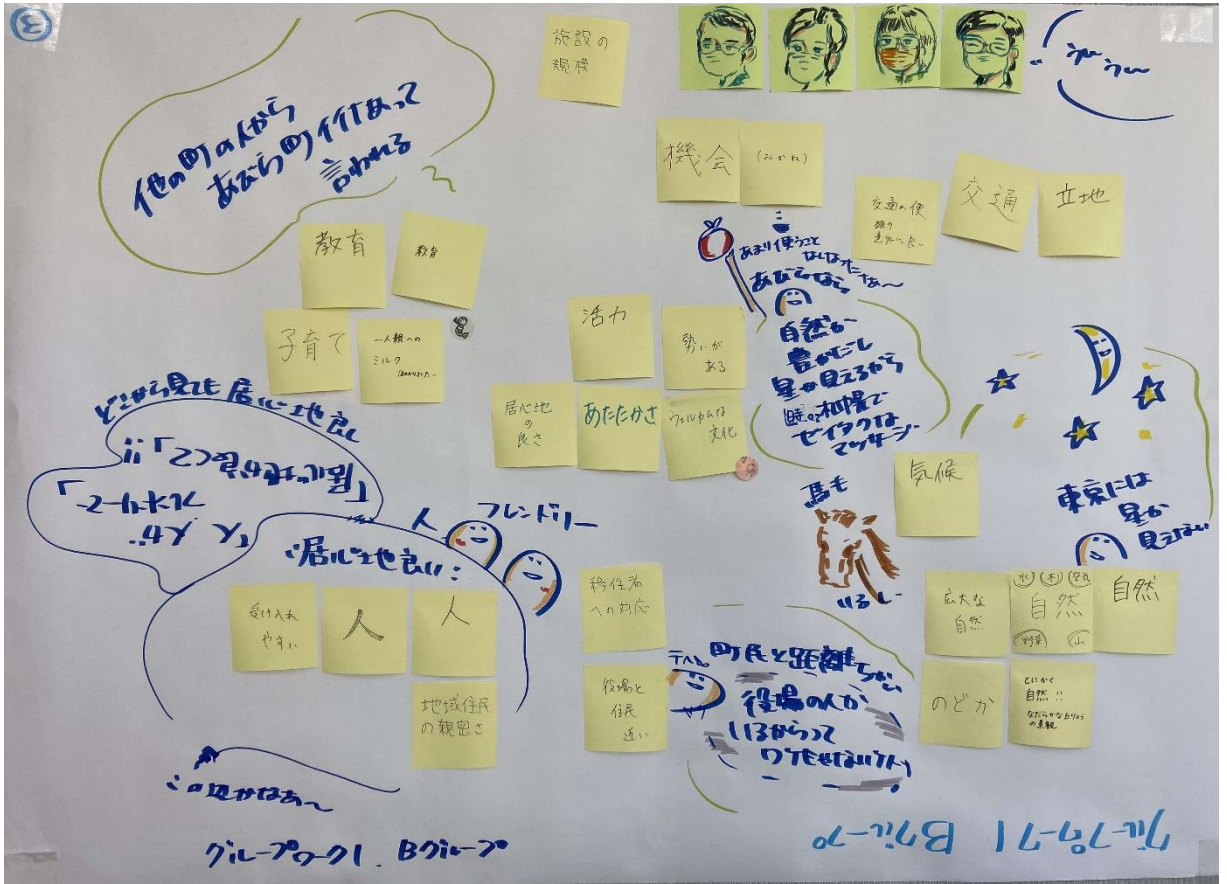
① オープニング～主旨説明



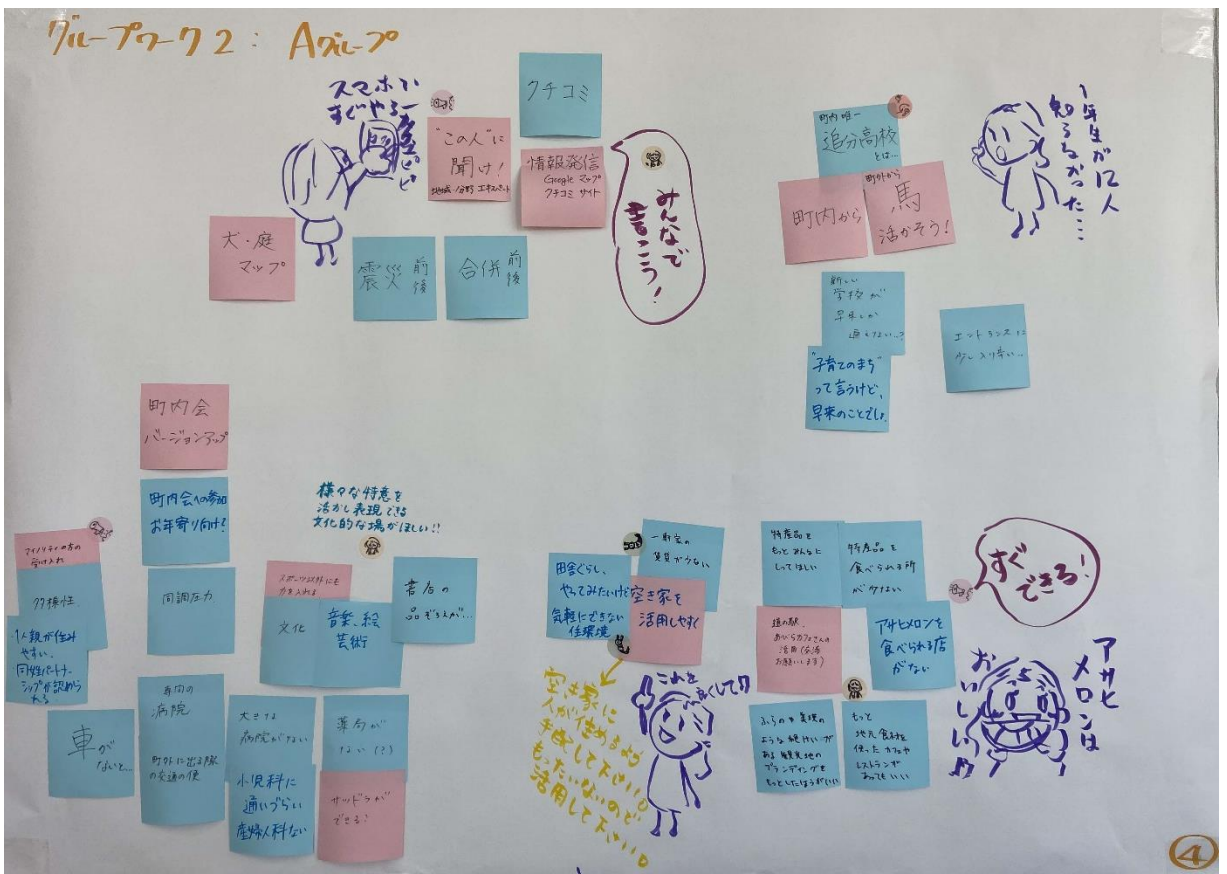
② グループワーク 1 (Aグループ)



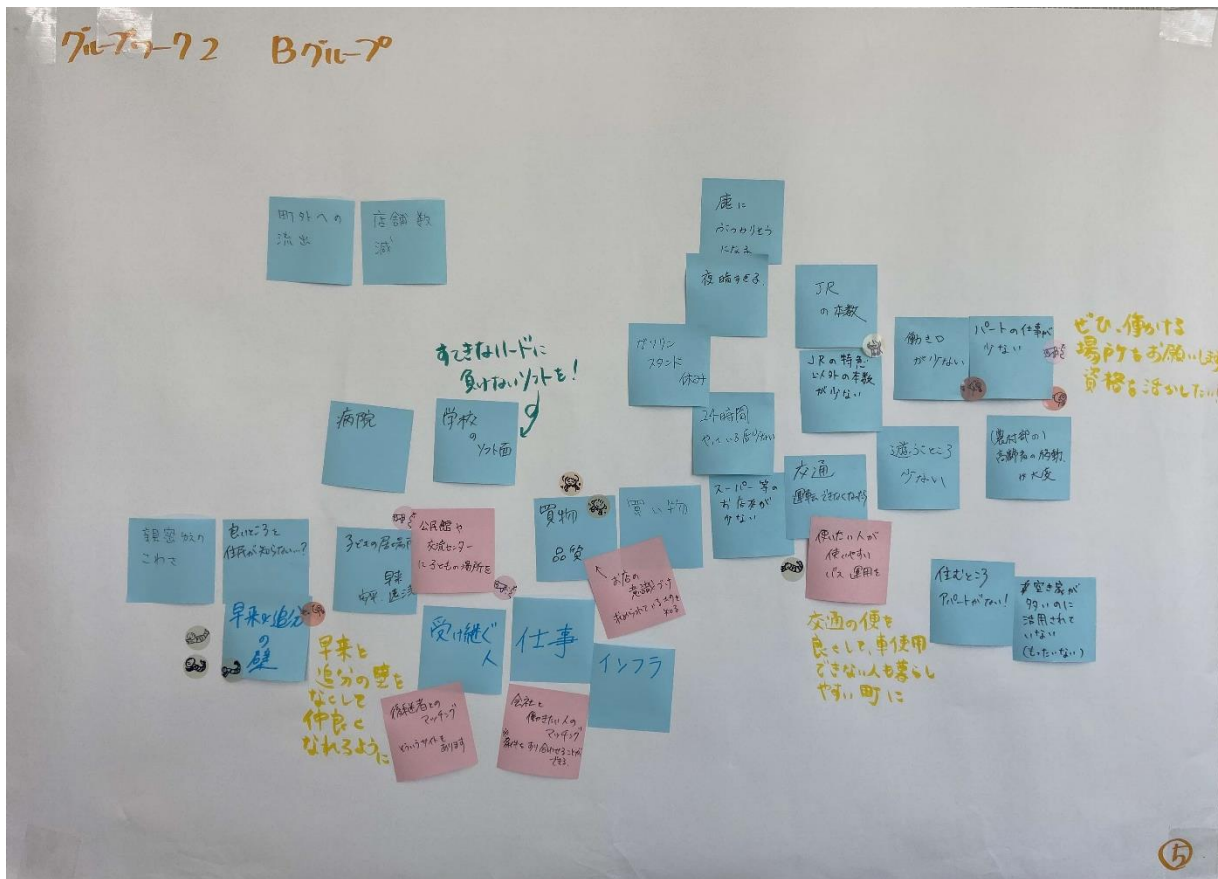
③ グループワーク 1 (Bグループ)



④ グループワーク 2 (Aグループ)



⑤ グループワーク2 (Bグループ)



⑥ まとめ

